

# 松江市 報道提供資料

令和5年4月28日

件名 「第3回脱炭素先行地域」に選定されました。

## <内容>

松江市は、環境省が募集する「第3回脱炭素先行地域」において、共同提案者と提案を行い、脱炭素先行地域に選定されました。

## <概要> 「国際文化観光都市・松江」の脱炭素化による魅力的なまちづくり ～カーボンニュートラル観光～

本市の代表的な4つの観光エリアを設定し、歴史的な街並みや景観の保存とカーボンニュートラルの両立を目指します。太陽光発電を活用した再生可能エネルギーの供給、温泉宿泊施設の給湯設備の省エネ仕様への転換、温泉熱の利活用などにより、「持続可能な観光」の実現を図り、住んでよし・訪れてよしの「国際文化観光都市」を目指します。

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、多様なステークホルダーとの連携を推進してまいります。

なお、上記施策の遂行にあたっては、本件選定により、国（環境省など）からの資金面並びにノウハウ面での支援が享受できる予定です。

<主たる提案者> 松江市

<共同提案者> (株)山陰合同銀行    ぎょうぎんエナジー(株)    中国電力(株)    日鉄エンジニアリング(株)  
日鉄環境エネルギーソリューション(株)    (株)インターネットイニシアティブ  
東京海上日動火災保険(株)    西日本旅客鉄道(株)    (株)日本旅行  
一般社団法人しまね産業資源循環協会    アースサポート(株)    一般社団法人松江観光協会

(脱炭素先行地域について)

2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門（家庭部門、業務その他）の電力消費に伴うCO<sub>2</sub>排出の実質ゼロを実現し、地域特性に応じた再生可能エネルギーの導入や省エネルギー化等による温室効果ガスの排出削減を先行的に実現する地域として、全国で100箇所程度が選定される予定（第3回となる今回は16箇所、累計62箇所が選定。島根県内では2番目。）

## 【問い合わせ】

環境エネルギー部 環境エネルギー課 担当：石倉・松浦

電話：0852-55-5278

# 松江市：「国際文化観光都市・松江」の脱炭素化による魅力的なまちづくり ～カーボンニュートラル観光～

脱炭素先行地域の対象： **国宝松江城周辺エリア、松江しんじ湖温泉エリア、玉造温泉エリア、美保関観光旅館エリア、防災拠点群、市有遊休地群**

主なエネルギー需要家： 旅館・ホテル29施設、民間施設99施設、住宅377戸、公共施設70施設

共同提案者： 株式会社山陰合同銀行、ごうぎんエナジー株式会社、中国電力株式会社、日鉄エンジニアリング株式会社、日鉄環境エネルギーソリューション株式会社、株式会社インターネットイニシアティブ、東京海上日動火災保険株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、株式会社日本旅行、一般社団法人しまね産業資源循環協会、アースサポート株式会社、一般社団法人松江観光協会

## 取組の全体像

**国際文化観光都市**・松江のシンボリック存在である国宝松江城及び周辺エリアの観光施設や、松江しんじ湖温泉と玉造温泉、海沿いの景勝地である美保関町の観光旅館エリアにおいて、既存の卒FIT電力や新規の太陽光発電を活用した**再エネ100%の電力メニュー**を供給して脱炭素化するほか、温泉宿泊施設の給湯機器の省エネ仕様への転換・温泉熱の利活用により、**持続可能な観光の実現**を図る。旅行・宿泊・観光・交通事業者との連携によるカーボンニュートラルツアーで差別化を図り、「**住んでよし・訪れてよし**」の観光都市を目指す。

### 1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① 景観条例により太陽光発電の設置が困難なエリアでは、**卒FIT電力**や**廃棄物バイオマス発電**(4,800kW)、市有遊休地にオフサイトPPAの太陽光発電(4,100kW)を導入し、家庭・法人向けの100%再エネ電力メニューを供給
- ② オフサイト太陽光発電と連結した**大型蓄電池**を活用し、統合的な充放電制御による需給管理を実施
- ③ 公共施設や温泉・宿泊施設へ**ソーラーカーポート等**(1,167kW)を導入
- ④ 廃棄予定の太陽光パネルの収集・検査・仕分けを行い、再利用可能なパネルを活用して**リユースパネル太陽光発電所**を整備



### 2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① 松江城の**堀川遊覧船を電動化**するとともに、観光地でのグリーンスローモビリティ等の導入を進め、再エネ100%で稼働
- ② 松江しんじ湖温泉・玉造温泉で**高効率ヒートポンプ給湯システム**を導入するほか、**温泉排水槽**で回収した熱を活用
- ③ 宍道湖・中海の**水草**や**林地残材**を廃棄物発電の燃料として活用
- ④ 観光客の避難先となる公民館にEV車やV2H等を導入

### 3. 取組により期待される主な効果

- ① 歴史的な街並みや景観の保存とカーボンニュートラルを両立させて、観光地としてのブランド力と防災力の向上を図り、住民や観光客が安心して生活・滞在できるまちづくりを推進し、**観光産業の活性化**による地域経済全体の回復と賑わいを創出
- ② カーボンニュートラルの長期持続に向けたリユース・リサイクルの促進や、未利用バイオマス資源の有効活用により、**資源循環型社会を実現**

### 4. 主な取組のスケジュール

2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
				家庭・法人向け電力メニュー提供
				公共施設・温泉・宿泊施設への太陽光発電・ソーラーカーポート導入
				コミュニティ蓄電池導入
				太陽光パネルのリユースパネル太陽光発電所の建設
				堀川遊覧船の電動化
				電動小型モビリティ導入
				高効率ヒートポンプ給湯システムの導入
				温泉排水熱利用システム導入
				ブルーカーボンの推進・水草や林地残材等の利活用